



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月5日

上場会社名 株式会社 タムラ製作所
 コード番号 6768 URL <https://www.tamura-ss.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅田 昌弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 橋口 裕作

TEL 03-3978-2031

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,279	19.5	82		113		315	
2020年3月期第1四半期	18,973	9.5	207	82.5	274	78.4	2	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 991百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 286百万円 (928.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	3.84	
2020年3月期第1四半期	0.03	

(注) 潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	84,082	45,262	53.6
2020年3月期	88,593	46,664	52.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 45,028百万円 2020年3月期 46,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		5.00		5.00	10.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想額は、現時点では未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,300	12.1	50	94.7	50	95.2	300		3.66
通期	76,300	4.2	2,000 ～2,300	12.6 ～0.5	2,000 ～2,300	20.3 ～8.4	500 ～800	51.2 ～21.9	6.09 ～9.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	82,771,473 株	2020年3月期	82,771,473 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	648,383 株	2020年3月期	680,722 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	82,115,761 株	2020年3月期1Q	82,053,372 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、多くの経済活動が停滞し、景気が急速に減速いたしました。当社グループに関わるエレクトロニクス市場では、設備投資抑制に伴い産業機械や装置関連の需要が低迷し、自動車関連では大幅な減産が行われました。また、中国は旧正月明けからの立ち上がりが遅れましたが、現在は、いち早く回復に向かってきております。足元では、自動車関連の生産縮小も底を脱したと見られます。しかし、米中貿易摩擦の長期化が懸念され、感染第2波の様相を呈している状況でもあり、先行きは不透明となっております。

こうした状況のもと、当社グループの事業所や工場は、所在する各国の政府や自治体からの新型コロナウイルス感染拡大防止に関する指針に従うとともに、テレワーク・輪番勤務・時差勤務の導入、国内外出張からWeb会議システムへの転換、オフィス内での分散勤務やパーテーション設置など様々な対策を講じ、感染拡大防止と事業継続の両立を進めてまいりました。また、経費管理の徹底や設備投資の見極めなどにより、コスト削減を図りましたが、景気低迷の影響を補うまでには至りませんでした。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高152億7千9百万円（前年同四半期比19.5%減）、営業損失8千2百万円（前年同四半期は2億7百万円の営業利益）、経常損失1億1千3百万円（前年同四半期は2億7千4百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失3億1千5百万円（前年同四半期は2百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高を含めており、セグメント利益はセグメント間取引消去及び本社部門負担の未来開発研究費用控除前の営業利益と調整を行っております。

① 電子部品関連事業

電子部品関連事業は、客先の設備投資の抑制を背景に、産業機械関連顧客向けのトランス・リアクタなどの需要低迷が続くとともに、自動車の生産縮小により車載用リアクトルも厳しい推移となりました。自動販売機向けのLEDモジュールも、客先の設備投資計画の先送りにより、期待した売上を確保できませんでした。中国では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で旧正月明けからの立ち上がりが遅れましたが、足元では回復に向かっております。また、在宅需要の高まりにより家庭用電動工具向けのチャージャなどは、比較的堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は95億5百万円（前年同四半期比24.3%減）、セグメント損失は2億1千4百万円（前年同四半期は2千万円のセグメント利益）と、減収減益になりました。

② 電子化学実装関連事業

電子化学事業は、自動車の生産縮小に伴い、車載向けのソルダーペースト・ソルダーレジストの売上が減少しております。また、スマートフォン向けのソルダーレジストは例年より立ち上がりが遅れ、当連結累計期間の業績への寄与は限定的でした。中国では、新型コロナウイルスの影響で旧正月明けからの立ち上がりが遅れましたが、5G基地局向けやデータセンター向けのソルダーペーストなどは堅調に推移いたしました。実装装置事業については、客先の設備投資の先送りや抑制により、厳しい状況が継続しております。

その結果、売上高は53億7千9百万円（前年同四半期比10.4%減）、セグメント利益は3億1千3百万円（同30.9%減）と、減収減益になりました。

③ 情報機器関連事業

情報機器関連事業は、主力客先である放送局の設備投資需要が弱く、主たる売上についても年度末を中心に予定していることから、当連結累計期間の売上は利益確保に必要な水準に至りませんでした。厳しい市場環境が継続しておりますが、社内においては将来を見据えた製品開発を鋭意進めております。

その結果、売上高は3億9千8百万円（前年同四半期比6.3%減）、セグメント損失は8千4百万円（前年同四半期は1億6千5百万円のセグメント損失）と低調な実績となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ45億1千1百万円減少し、840億8千2百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少など、流動資産が36億4千6百万円減少したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ31億9百万円減少し、388億2千万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少などによります。

有利子負債合計(短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・短期リース債務・長期借入金及び長期リース債務の合計額)は6億4千8百万円増加し、229億4千7百万円となりました。新型コロナウイルスの感染拡大による不測の事態に備え、機動的な短期運転資金として10億円の短期運転資金を銀行借入にて調達し、またコミットメントライン契約を25億円増枠の総額50億円とし、手許流動性を高められるよう対応しております。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ14億2百万円減少し、452億6千2百万円となりました。これは主に、利益剰余金が7億2千7百万円減少したこと及び為替換算調整勘定が8億1千4百万円減少したことなどによります。この結果、自己資本比率は53.6%となりました。

(自己資本比率は、純資産より新株予約権・非支配株主持分を控除して計算した比率を用いております。)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表した業績予想は、新型コロナウイルス感染症は2020年6月末には収束に向かうと仮定し、事業活動は9月に向けて緩やかに回復に向かい、下期にはほぼ正常に戻るという想定で作成いたしました。具体的には、電子部品関連では環境車向け昇圧リアクタの売上寄与や自動販売機向けLEDモジュールの拡大、電子化学実装関連では新型コロナウイルス収束後に実装装置の納品が進展することなどを期待し、期末に向けた業績回復を予想しておりました。しかしながら、現時点で新型コロナウイルス感染症は世界に拡大し、国内でも再拡大が懸念される状況となっており、今後の客先動向によっては業績予想の前提が変化する可能性があります。業績見通しについては精査を進めておりますが、修正の必要が生じた場合にはすみやかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,669	16,898
受取手形及び売掛金	20,853	16,103
商品及び製品	5,621	6,194
仕掛品	1,938	1,870
原材料及び貯蔵品	5,636	6,132
その他	2,475	2,348
貸倒引当金	△81	△80
流動資産合計	53,114	49,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,239	20,041
減価償却累計額	△10,158	△10,219
建物及び構築物(純額)	10,080	9,821
機械装置及び運搬具	17,199	17,032
減価償却累計額	△12,477	△12,571
機械装置及び運搬具(純額)	4,722	4,461
工具、器具及び備品	9,468	9,403
減価償却累計額	△7,925	△7,943
工具、器具及び備品(純額)	1,542	1,460
土地	5,136	5,102
リース資産	4,233	4,107
減価償却累計額	△931	△1,097
リース資産(純額)	3,301	3,010
建設仮勘定	1,899	2,075
有形固定資産合計	26,682	25,931
無形固定資産		
のれん	333	299
リース資産	377	395
その他	780	758
無形固定資産合計	1,490	1,453
投資その他の資産		
投資有価証券	3,790	3,843
退職給付に係る資産	2,346	2,331
繰延税金資産	628	530
その他	609	590
貸倒引当金	△68	△65
投資その他の資産合計	7,306	7,229
固定資産合計	35,479	34,615
資産合計	88,593	84,082

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,943	8,732
短期借入金	4,924	5,904
1年内返済予定の長期借入金	309	3,900
リース債務	973	870
未払法人税等	394	300
賞与引当金	923	410
役員賞与引当金	46	17
移転損失引当金	14	5
その他	2,840	2,984
流動負債合計	22,370	23,125
固定負債		
長期借入金	13,586	9,916
リース債務	2,506	2,355
繰延税金負債	92	88
退職給付に係る負債	2,920	2,919
その他	452	414
固定負債合計	19,558	15,694
負債合計	41,929	38,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,829	11,829
資本剰余金	17,019	17,019
利益剰余金	19,121	18,394
自己株式	△256	△244
株主資本合計	47,713	46,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△268	△187
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△402	△1,216
退職給付に係る調整累計額	△633	△566
その他の包括利益累計額合計	△1,304	△1,970
新株予約権	161	150
非支配株主持分	93	83
純資産合計	46,664	45,262
負債純資産合計	88,593	84,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	18,973	15,279
売上原価	13,590	10,845
売上総利益	5,383	4,434
販売費及び一般管理費	5,175	4,516
営業利益又は営業損失(△)	207	△82
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	32	18
為替差益	2	—
持分法による投資利益	21	8
補助金収入	51	1
デリバティブ評価益	—	42
その他	33	34
営業外収益合計	157	116
営業外費用		
支払利息	70	90
為替差損	—	32
その他	20	24
営業外費用合計	90	147
経常利益又は経常損失(△)	274	△113
特別利益		
固定資産売却益	188	0
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	188	1
特別損失		
固定資産除売却損	20	2
特別損失合計	20	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	443	△114
法人税、住民税及び事業税	176	119
法人税等調整額	271	78
法人税等合計	447	198
四半期純損失(△)	△3	△312
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△315

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△3	△312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	81
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	247	△784
退職給付に係る調整額	78	67
持分法適用会社に対する持分相当額	32	△42
その他の包括利益合計	290	△678
四半期包括利益	286	△991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281	△981
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見振り)

当第1四半期連結累計期間において、新たな追加情報の発生及び前連結会計年度の有価証券報告書に記載した情報等についての重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,558	5,989	424	18,972	0	18,973	—	18,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	11	0	12	171	183	△183	—
計	12,558	6,001	425	18,985	172	19,157	△183	18,973
セグメント利益又は 損失(△)	20	454	△165	308	9	318	△110	207

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸・倉庫業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△110百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配賦していない本社部門負担の未来開発研究費用△126百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,505	5,375	398	15,279	15,279	—	15,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	0	3	3	△3	—
計	9,505	5,379	398	15,283	15,283	△3	15,279
セグメント利益又は 損失(△)	△214	313	△84	14	14	△97	△82

- (注) 1. 「その他事業」である運輸・倉庫業を行っていた連結子会社株タムラ流通センターは、2020年4月1日付で当社に吸収合併されました。これに伴い当社グループの運輸・倉庫業は消滅したため、当第1四半期連結会計期間より「その他事業」の記載をしておりません。
2. セグメント利益又は損失の調整額△97百万円には、セグメント間取引消去5百万円及び各報告セグメントに配賦していない本社部門負担の未来開発研究費用△102百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。